



第6章

経過観察（モニタリング）体制



a) 保存状況を計測するための主たる指標

構成資産である「記念工作物」・「考古学的遺跡」をはじめ、それらの緩衝地帯については、顕著な普遍的価値の確実な保持、修理又は復旧、維持管理、防災及び危機管理に関する体制の充実及び技術の向上を目的として、4章に掲げた保全状況及び資産全体に与える影響に対し、次に掲げるおもな観点の下に適切な指標を設定し、定期的かつ体系的な経過観察(モニタリング)を実施する。

- ①「3. 記載のための価値証明」に記された資産の価値と真実性及び完全性が維持されているか。
- ②「4. 保全状況と資産に与える影響」に記された諸要素(開発・環境問題・自然災害・観光・その他)が資産とその緩衝地帯にどのような影響を与えているか/与えたか。
- ③「5. 資産の保護と管理」に関連して、資産とその緩衝地帯及びそれらを取り巻く周辺の広い地域が、相互に呼応しつつ資産の顕著な普遍的価値に関する知識を発信する場として適切な発展を遂げているか。

設定するおもな観察指標については、表 6-1 に示すとおりである。

なお、上記指標の具体的な設定根拠及び測定方法等に関する内容の詳細については、本推薦書付附属資料-11である包括的保存管理計画において具体的に記述している。

b) 資産の経過観察(モニタリング)のための行政上の体制

定期報告を含む経過観察(モニタリング)については、以下の表に示すように管理団体である関係各市町が、岩手県教育委員会を通じて文化庁の指導の下に行う。『世界遺産条約の履行のための作業指針』(2008年)第5章に基づき、年度ごとに情報収集及び記録作成を行い、蓄積した成果について6年ごとに保存管理状況の評価としてまとめ、世界遺産センターを通じて世界遺産委員会に定期報告書(英文)を提出する。



表 6-1 経過観察に関する具体的指標

指標		周期	記録組織	
1) 資産の視覚的結び付きの保護	a) 視点場における景観を阻害する要因数	毎年	岩手県	
	b) 規制(景観条例等)に適合しない要因数	毎年	平泉町 奥州市	
2) 資産の関連性の保護	a) 整備(ガイダンス施設含む)の進捗率	3年毎	岩手県	
	b) 発掘調査報告書・研究報告書等の刊行数	毎年	岩手県	
	c) パンフレット・HP による情報提供数	毎年	岩手県	
	d) 専門家による現地確認・指導会の開催数	毎年	岩手県	
	e) 研修会・セミナー等の開催数	毎年	岩手県	
	f) 観光客入り込み数	毎年	岩手県	
	g) 便益施設数と収容能力の状況	3年毎	岩手県	
3) 個別資産の保護	3-1 建造物の保護	a) 建造物修理記録・整備記録	毎年	中尊寺 平泉町
		b) 建造物防火施設及び保存施設の点検・整備・改修又は修理結果(補助、自費)	毎年	中尊寺 平泉町
		c) 現状変更の数及びその内容	毎年	中尊寺 平泉町
		d) 酸性雨の状況(PH測定)	3ヶ月毎	中尊寺 平泉町
	3-2 庭園の保護	a) 現状変更の数及びその内容	毎年	平泉町
		b) 酸性雨の状況(PH測定)	3ヶ月毎	平泉町 毛越寺
		c) 水系の状況(水質、水量、生物の測定)	3ヶ月毎	平泉町 毛越寺
		d) 植生の状況(樹種とその割合の測定)	毎年	平泉町 毛越寺
	3-3 考古学的遺跡の保護	a) 現状変更の数及びその内容	毎年	平泉町
		b) 遺構の状況(礎石位置の測定)	毎年	平泉町
	3-4 価値を伝えるための宗教的儀礼及び芸能の保護	a) 伝統芸能演目の継承数	毎年	平泉町 奥州市
		b) 宗教儀礼及び芸能等の開催数	毎年	平泉町 奥州市
4) 緩衝地帯の保護	a) 緩衝地帯における現状変更の数	毎年	岩手県	



表 6-3-1 モニタリングについての過去及び現在の資料・文書(その1)

番号	編著者	標題	対象資産	年	要約
1	朝日新聞社	中尊寺と藤原四代中尊寺 学術調査報告	[1] 中尊寺 [1-1] 金色堂	1950	金色堂の保存状況のほか、金色堂須弥壇内の藤原四代の遺体に対する学術調査が行われ、それぞれの遺体の配置及び遺存状況が報告された。
2	文化財保護委員会	無量光院跡	[4] 無量光院跡	1954	無量光院跡の発掘調査が行われ、本堂跡及び中島の建物跡等の遺構が良好に保存されていることが確認されるとともに、伽藍の構造及び配置が宇治平等院と共通することが考古学的に証明された。
3	藤島亥治郎編	平泉—毛越寺と観自在王院の研究	[2] 毛越寺 [2-1] 毛越寺庭園 [2-2] 常行堂 [3] 観自在王院跡	1961	園池を含む毛越寺境内の発掘調査が行われ、浄土庭園・円隆寺跡及び常行堂跡等の遺構が良好に保存されていることが確認された。また、観自在王院跡の発掘調査によって、2棟の阿弥陀堂跡が良好に保存されていることが確認された。
4	国宝中尊寺金色堂保存修理委員会	国宝中尊寺金色堂保存修理工事報告書	[1-1] 金色堂 [1-2] 金色堂覆堂	1968	金色堂を全解体し、覆堂を移設するとともに、部材の保存状態及び装飾技術等についての学術調査が行われた。その際、一部の部材については当初の技法を用いて製作した新材と交換した。
5	財団法人文化財建造物保存技術協会編集	重要文化財大長寿院経蔵・願成就院宝塔・釈尊院五輪塔保存修理工事報告書	[1-3] 経蔵	1978	経蔵を全解体し、部材の保存状態及び建築技術等についての学術調査が行われた。



表 6-3-2 モニタリングについての過去及び現在の資料・文書(その2)

番号	編著者	標題	対象資産	年	要約
6	平泉町教育委員会	特別史跡毛越寺跡附鎮守社跡 観自在王院跡整備報告書	[3] 観自在王院跡	1979	観自在王院阿弥陀堂跡に付属する庭園の発掘調査を行い、当初の状態が良好に保存されていることを確認した上で、新たに検出した庭園に関する遺構を含めて修復を行った。
7	平泉遺跡調査会 (代表藤島亥治郎)・中尊寺	中尊寺一発掘調査の記録一	[1] 中尊寺 [1-4] 大池伽藍跡	1983	中尊寺境内の発掘調査によって、境内全域で12世紀の遺跡が良好に保存されていることが確認された。特に、大池伽藍跡では、仏堂及び庭園の遺構がそれぞれ確認された。
8	平泉町教育委員会	特別史跡特別名勝毛越寺庭園発掘調査報告書一第5～13次調査一	[2] 毛越寺 [2-1] 毛越寺庭園	1984 ～ 1991	毛越寺庭園を修復するために、継続的な発掘調査が行われ、庭園の詳細な構造が明らかとなった。特に、新たに検出された遣水遺構によって、庭園の全体構造が明らかとなった。
9	関山中尊寺	国宝中尊寺金色堂保存施設(新覆堂)改修工事報告書	[1-1] 金色堂	1990	現在の覆堂によって保存されている金色堂の温湿度環境を調査し、さらに良好な環境を保証するための空調設備工事が行われた。
10	(財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	柳之御所跡一一関遊水地・平泉バイパス建設関連第21・23・28・31・36・41次発掘調査一	[6] 柳之御所遺跡	1995	平泉バイパス及び北上川堤防建設に関連して行われた発掘調査により、12世紀の居館に関する多数の遺構及び遺物が発見され、柳之御所遺跡が奥州藤原氏の政治・行政上の中心的遺跡であり、それらが良好に保存されていることが明らかとなった。



表 6-3-3 モニタリングについての過去及び現在の資料・文書(その3)

番号	編著者	標題	対象資産	年	要約
11	平泉町教育委員会	特別史跡無量光院跡内容確認調査報告書—第8次～第19次調査—	[4] 無量光院跡	2000 ～ 2009	園池を中心に無量光院跡の詳細な構造を解明するために発掘調査が継続的に行われ、汀線の位置がほぼ確定したほか、導水に関する施設の構造が判明した。
12	平泉町教育委員会	花立 I 遺跡第2・3・4次 白山社遺跡第3次西光寺跡第2次発掘調査報告書	[5] 金鶏山	2004	金鶏山頂に12世紀の経塚が形成され、良好に保存されていることが確認された。
13	岩手県教育委員会	平泉遺跡群発掘調査報告書 柳之御所遺跡—第57次発掘調査概報—猫間が淵跡発掘調査本報告—第1次・第2次内容確認調査総括報告—	[6] 柳之御所遺跡	2004	柳之御所遺跡の発掘調査が継続的に行われ、建物跡・園池跡・倉庫跡・井戸跡等の「平泉館」の詳細な構造が明らかとなった。同時に、遺構変遷が具体的に明らかとなり、整備計画策定のための資料が得られた。
14	岩手県教育委員会	史跡柳之御所遺跡整備実施計画	[6] 柳之御所遺跡	2004	発掘調査によって解明された遺構の保存を図りつつ、遺跡の価値を伝達するための具体的計画が策定された。
15	平泉町・平泉町教育委員会	特別史跡中尊寺境内 第2次保存管理計画書	[1] 中尊寺 [1-4] 大池伽藍跡	2005	主に考古学的遺跡としての中尊寺境内を対象とし、境内全域の現在の保存状況を記載するとともに、今後の適切な保存管理及び活用を行っていくための方法及び指針が策定された。
16	平泉町教育委員会	平泉遺跡群発掘調査報告書—中尊寺第57次～第73次	[1] 中尊寺 [1-4] 大池伽藍跡	2000 ～ 2009	中尊寺境内の継続的な発掘調査を実施し、大池伽藍跡の修復・整備計画策定に必要とされる詳細な考古学的情報を収集するとともに、良好な保存状態が確認された。



表 6-3-4 モニタリングについての過去及び現在の資料・文書(その4)

番号	編著者	標題	対象資産	年	要約
17	平泉町・平泉町教育委員会	特別史跡毛越寺跡附鎮守社跡 特別名勝毛越寺庭園 名勝旧観自在王院庭園 第2次保存管理計画書	[2] 毛越寺 [2-1] 毛越寺庭園 [2-2] 常行堂 [3] 観自在王院跡	2005	考古学的遺跡としての毛越寺境内及び観自在王院跡及びそれぞれの庭園を対象とし、境内全域の現在の保全状況を把握するとともに、今後の適切な保存管理及び活用を行っていくための方法及び指針が策定された。
18	平泉町・中尊寺・白山神社	中尊寺境内国宝・重要文化財建造物保存管理計画書	[1-1] 金色堂 [1-2] 金色堂覆堂 [1-3] 経蔵	2006	中尊寺境内に所在する金色堂・金色堂覆堂・経蔵についての現在の保存状況を把握するとともに、今後の適切な保存管理及び活用を行っていくための方法及び指針が策定された。
19	平泉町・平泉町教育委員会	特別史跡無量光院跡・史跡柳之御所・平泉遺跡群(柳之御所遺跡)・史跡金鶏山・史跡達谷窟保存管理計画書	[4] 無量光院跡 [5] 金鶏山 [6] 柳之御所遺跡	2006	考古学的遺跡としての無量光院跡・金鶏山・柳之御所遺跡を対象として、遺跡全域の現在の保存状況を把握するとともに、今後の適切な保存管理及び活用を行っていくための方法及び指針が策定された。
20	平泉町教育委員会	特別史跡毛越寺境内 特別名勝毛越寺庭園 整備報告書	[2] 毛越寺 [2-1] 毛越寺庭園	2007	発掘調査によって、庭園の当初の状態が良好に保全されていることが確認され、新たに検出された遺構を含めて修復が行われた。同時に、平泉における浄土庭園等の庭園の修復に関する基本的な指針が策定された。